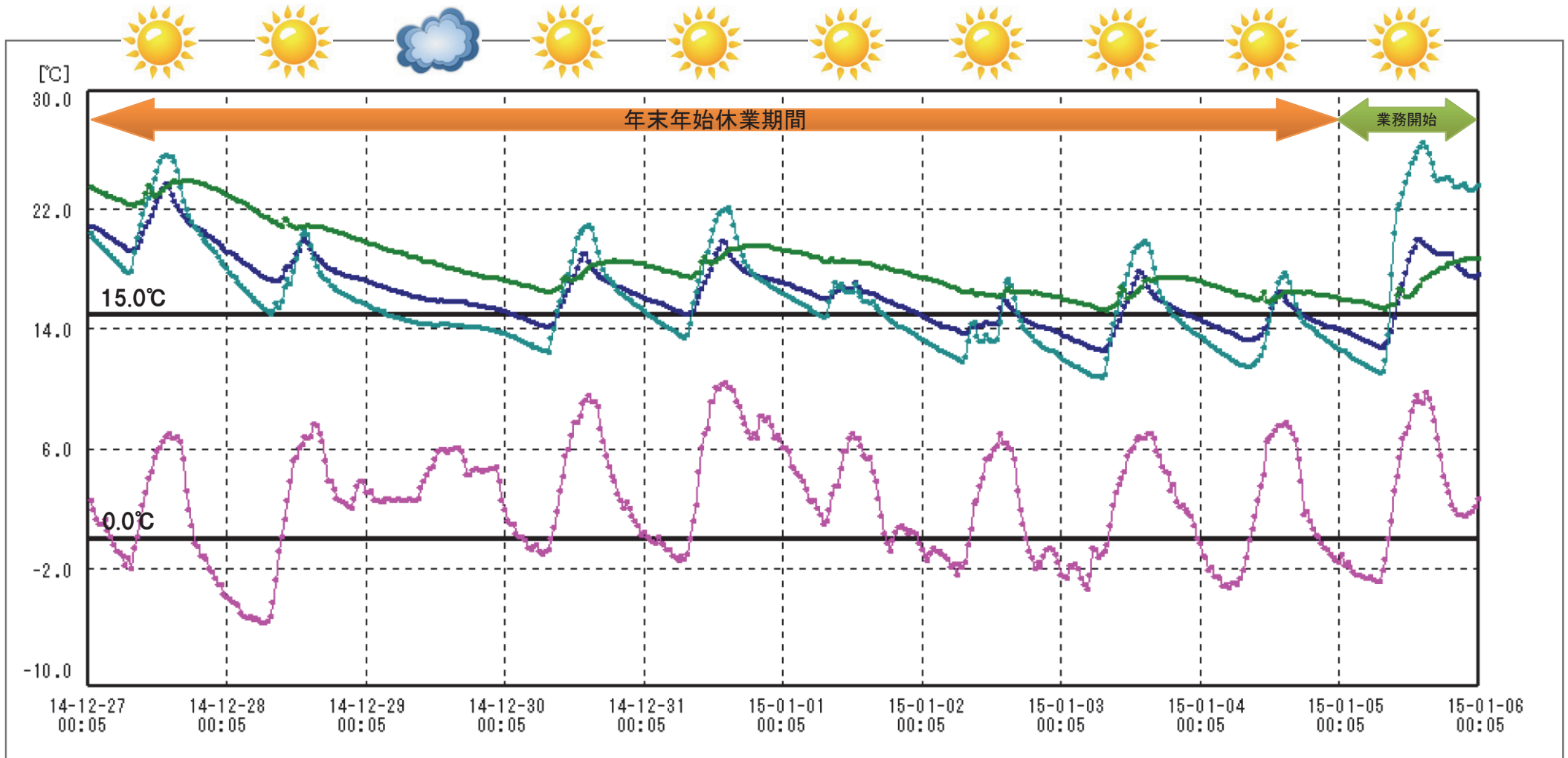


# 平成26年度 年末年始の協会社屋 温熱測定結果(12月27日~1月5日)



送信器名称 CH番号	1Fホール CH2	2Fホール CH2	日射取得1:水蓄熱 CH1	外気温 CH1
▶ グラフ表示	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
単位	℃	℃	℃	℃
収録データ数	480	480	480	480
欠損データ数	0	0	0	0
測定間隔	00:30:00	00:30:00	00:30:00	00:30:00
最高値	23.7	26.5	23.9	10.4
最低値	12.6	10.7	15.2	-5.6
平均値	16.4	16.2	18.4	2.4

分析結果
<p><b>【検証期間】</b> 12/27~1/4(年末年始休業中)</p> <p><b>【条件】</b> 無暖房(パソコンなどの電化製品も稼働していない)</p> <p><b>【結果】</b> 高断熱構造(Q値:0.98)の躯体と窓から入る日射取得熱、及び熱容量の大小についての室内温度変化を表している。 外部より平均で約14度室温が高い。熱容量が大きい1階では温度変化が緩やかであるのに対し、2階は石膏ボードや床材のみの熱容量しかない為、温度変化が激しい。水蓄熱は急激な温度変化を防ぐために機能していることが分かる。</p>